

III 活動記録

4. 広報活動

ロゴマーク

本プログラムのロゴは、数学Mathematicsの頭文字Mを想起させるフォルムで、5本のラインは本プログラムで育成を目指す「マス・ファイブ・フォース」、すなわち、数学力・統計力・モデリング力・共創力・創発力を意味し、これらの力が本プログラムによって社会に貢献する新しいフォースに生まれ変わることを表現している。さらに、ラインのデザインは本プログラムの源となった文部科学省グローバルCOEプログラム「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」(H20年度～H24年度)で使用されたロゴのデザインを反映しており、グローバルCOEプログラムに端を発する「マス・フォア・インダストリ」の理念が本プログラムに受け継がれ、さらに発展してゆくことも表現されている。このロゴの選定にあたっては、デザイナーに依頼して数種類のご提案をいただいた上、コンセプトのすり合わせをしながらブラッシュアップし、最終的には4種類の案からもっともふさわしいものを選んだ。



マス・フォア・イノベーション
卓越大学院
Graduate Program of Mathematics for Innovation

ロゴ(日本語版)



GPMI
Graduate Program of
Mathematics for Innovation

ロゴ(英語版)

リーフレット

本プログラムについて周知を行うため、プログラムリーフレットを日本語版と英語版の2種類作成した。記載項目は、「総長、プログラム責任者及びプログラムコーディネーターの挨拶」、「文部科学省卓越大学院プログラム事業について」、「本プログラムの概要」、「本プログラムが求める学生像」、特徴ある取り組みである「卓越社会人博士課程制度」、「カリキュラムの概要について」である。リーフレットの作成により、来学いただいた企業等への広報活動に大いに役立てることができた。



リーフレット(日本語版)



リーフレット(英語版)

ホームページ

本プログラムの活動を学内外に幅広く発信するとともに、教育内容に関する効果的な情報や、入学後のサポートに関する情報をプログラム生に提供することを目的に、ホームページを立ち上げた。また、国内外の優秀なプログラム生の獲得を目指し、日本語版に加え、英語版のホームページも作成した。

さらに、学内外、および連携先機関の全プログラム担当者を掲載したプログラム担当者ページ、およびヤングメンターページを作成し、プログラムを通して学べる研究内容について学生にイメージしてもらえよう、担当者ごとの専門分野や企業名を併せて掲載した。また、学生の目につきやすいように、イベントカレンダーをトップページに作成し、プログラムの活動予定を発信した。



卓越大学院プログラムホームページ(トップページ)

マス・フォア・イノベーション連係学府パンフレット

九州大学では、九州大学大学院数理学府、システム情報科学府、経済学府を連係協力学府とし、研究科等連係課程実施基本組織である「マス・フォア・イノベーション連係学府」を令和4年4月に設置した。これに伴い、令和4年度より、当該連係学府が本プログラムの実施主体となる。

本連係学府の設置に伴い、本プログラムの特色ある活動や入試情報について周知することを目的とした簡易版パンフレットを作成した。より多くの学生の関心を得るため、担当教員や入試情報などの基本的な情報に加え、独自の充実したサポート体制として、経済的支援やマルチメンター制度、卓越社会人博士課程制度について掲載した。なお、本連係学府が本格的に始動した令和4年度は、さらに幅広い学生の獲得に努めるべく、詳細版パンフレットを作成する予定である。



令和3年度のパンフレット

Ⅲ 活動記録

ギャラリー





院生室



英語研修の様子



院生室図書(数理学府)



院生室図書(システム情報科学府)



院生室図書(経済学府)

はじめに

プログラムについて

4. 広報活動

1. マス・フォア・イノベーションカフェ発表

III 活動記録

その他

各種イベント等における本プログラムの広報活動に資するため、カンファレンスバッグ、クリアファイル、ポスター（令和2年度版、令和3年度版）を作成した。また、Twitterアカウントを作成することにより、イベントや説明会などのプログラム関連行事の開催において、迅速な情報発信に役立てることができた。

カンファレンスバック(左:水色、右:紺色)



クリアファイル



令和2年度ポスター



令和3年度ポスター



Twitterアカウント(日本語)



Twitterアカウント(英語)

